

上衝し、腹筋攣急して板状をなし、多く上體を屈し、徃々反射的嘔吐
 或は胃痛を伴ひ、四肢轉筋し、甚だしきものは人事不省に陥るもの
 あり、然れども脈搏には多く異状なく、又發熱せず、此際腹部を觸診
 するに子宮に接衝して恰かも腫瘍に觸るゝの感あり、而して精神
 の感動、或は大・小便の努責、便秘、腸中瓦斯の集積により、其疼痛を増
 加す。本病は能く歇斯的里家及び子宮内膜炎より發すべし。
 豫後 多く佳良、然れども悪新生物及び子宮の轉位等より來るも
 のは容易に治せざるなり。

療法 第一原因の除去に努め、而して子宮交感神經機能の鎮靜を
 計るの目的を以て腰部第二位點乃至第五位點腎俞氣海俞大腸俞
 小腸俞關元俞上膠次膠に刺鍼一寸乃至二寸、灸各七壯乃至十壯し、
 加ふるに誘導法として下肢第二位點同第三位點三里三陰交に刺

鍼三分乃至五分、灸各七壯乃至十五壯し、人事不省に陥れる際には
 更に頸部鍼及び上肢にも刺鍼、施灸すべし、惡新生物及び子宮の轉
 位等の外は假令機質的なり、雖も子宮内膜炎、卵巢炎より來るも
 一時緩解す、殊に官能的より來りたるものに對しては最も特異の
 効果を奏す可し。

第十章 眼科病篇

(一) 眼瞼緣炎 Blepharitis.

原因 本病は幼年に多くして殊に貧血性・結核性・腺病性の者は侵
 され易く、又顔面濕疹・流涙を兼ねる涙囊疾患・上行性鼻加答兒等は
 其原因となる。

症候 鱗屑性眼瞼緣炎と潰瘍性眼瞼緣炎との二ありて、前者は睫毛の根間に灰白色の鱗屑若くは糖を撒布したるが如きものを生じ、若し之を除去すれば眼瞼緣の皮膚は發赤腫脹し、其部に癢痒感乃至は重感を覺え、結膜炎・流涙症等を誘ひ易し。亦後者に在りては眼瞼緣に黄色の痂皮を結び、睫毛囊の周圍に小膿瘍を形成するものにして、此痂皮を除去すれば小潰瘍ありて、其中央に睫毛の發生せるを見るべく、往々睫毛の脱落を來す。

豫後 良なり。

療法 本病の初期に於ては毎日清水若くは微温湯を以て眼瞼を洗滌せしめ、兼て誘導法の目的を以て患側の顳額部・絲竹空・瞳子膠・頷厭・懸顳・懸釐に稍や強き皮膚鍼を施し、尙ほ後頸部・天柱・完骨・風池及び頸椎の兩側并に肩背・肩中・肩外・身柱・大杼・風門・附分等に刺鍼五

分乃至七分、灸肩背に於いて各三壯乃至十壯せば兩三日にして充血去り、自然治癒すべきも若し病進める者にありては宜しく醫療を勧め之を併用すべし。

(二) 單純性結膜炎

Conjunctivitis simplex.

原因 春秋二期に於て最も多く、鼻加答兒若くは顔面皮膚病の蔓延するに由りて來り、其他結膜の外傷・塵埃・異物・睫毛等の刺戟及び換氣不充分に於て且つ光線の不足なる所に於ける眼の過勞等は又本病の原因たり。

症候 其急性症に在りては眼瞼稍や腫脹し、羞明を來し、涙液の分泌又旺盛し、分泌物は睫毛に凝着す。又結膜の表面は依然滑澤なるも發赤腫脹を呈し、時に眼球結膜の浮腫を起す事あり。亦た慢性症

に於ては眼瞼縁は軽度に發赤して粘液塊及び泡沫を混せる分泌物を生じ、異物感、搔痒、流涙あり、結膜殊に眼瞼結膜は強く充血す。豫後 時に細菌性のものなれども療法其宜しきを得ば良。療法 其初めに於て冷水若くは生理的食鹽水(〇九%)を以て洗滌乃至冷罨法を行はしめ、前項眼瞼縁炎と同様の療法を行ひ、猶ほ兼ねて醫療を怠らず加へしむべし。

(三) 小兒急性腫脹性結膜炎

Akuter Schwellungskatarrh des Kindes.

本症は一の急性結膜炎なれども高度の羞明と強き眼瞼痙攣を合併するを特徴とし、若し此羞明にして角膜疾患に由來せざるものに在りては、顯顫部(紫竹空、瞳子膠)及び後頭部(天柱、完骨、風池)等に皮膚鍼を施し、尙ほ冷水に灌漑せしむれば、輕快を來すべく、角膜の

浸潤を來せるもの、雖も數日持續せば全治すべし。

(四)

トラホーム Trachom.

原因 一種不明なる執拗の傳染毒に因るものにして、ミツヘル氏は重球微生物に因ると云ふ。不潔なる校舎、監獄に流行し、十乃至二十歳の貧民社會に於ける女子に多く、先づ一眼を侵し、次で他眼に及ぶを常とす。

症候 本病に在りては最初に眼球と上眼瞼との結膜移行部、次で上眼瞼更に下眼瞼の結膜に帶黃灰白色の小濾泡を生じ、濾泡の生ぜし結膜部に於ては、溷濁、腫脹、發赤を來し、爲めにマイボーム氏腺は見る能はざるに至る。而して日を経るに至れば、癍痕を形成し、甚だしき時は全結膜癍痕組織となり、臄様の外觀を呈する事あり、尙

ほ本症の長く續く時に於ては能く角膜を毀け角膜疾患を繼發するを以て注意を要す。

豫後 初期は能く全治す。雖も慢性に移行せば容易に治し難く殊に春秋二季に於て再發し易し。

療法 炎症々々状流涙分泌發赤等ある間は一日一二回生理的食鹽水を以て洗滌せしめ尙ほ一日數回冷罨法を加へしめ眼瞼縁炎と同様の箇所を刺鍼點灸せしむべし。病進むに至らば醫療を行はしめ本病は重篤なる他疾患を誘起し易すければ其時期を誤まらしむ可からず。

(五) 膿漏眼 *Blennorrhoea adalutorum.*

原因 本病はナイセル氏の淋菌(稀に肺炎球菌等の化膿性菌)の結

膜に入るに因りて感染するものにして婦人よりも壯年の男子に多く自己又は他人より傳染す。其他時には急性トラホーム白帶下等より本症を誘起する事あり。

症候 第一期充血期に於ては眼瞼は發赤腫脹懸垂して爲めに翻轉し能はざる程となり甚だしき時は結膜下に浮腫灼熱疼痛を訴へ漿液性の分泌物旺盛して拭ふに暇無き程となる。第二期(化膿期)に在りては結膜肥大して天鵞絨狀を爲り濃厚にして恰かも牛乳の如き濃汁を多量に分泌し眼瞼腫脹及び疼痛は稍や減退すれども往々角膜に潰瘍を來し遂に穿孔失明せしむるの虞あるを以て注意を要す。第三期(退降期)に入れば分泌物漸時減少するに共其他の炎症々々状減退し遂には癍痕を止めずして治に赴く。

豫後 危險なる合併症を招かず良好の經過を取りしものは四乃

至六週を以て治療す。雖も、虚弱なる小兒、高齢者にして慢性に移
行せしものは、豫後不良なり。

療法 其の初期に於て、顛顛部、後頸部の髮際等に強き皮膚鍼を行
ひ、尚ほ肩背に五七分刺鍼して、強刺戟を與へ兼ねて、氷罨法(第一期)
及び冷罨法(第二期)を施せば、時に治療す。雖も、淋菌に因するもの
は、症状劇甚にして、且つ危険なる合併症を誘起するを以て、速かに
醫療を勸むるを可とす。

附り 初生兒膿漏眼

Blepharorrhoea neonatorum.

本症は初生兒の産道を通過する際、淋菌の結膜に浸入するに因り
て、催起せらるるものにして、殊に分娩に長時を要せし者に於て多
く之を見るべし。其症候は大略前症に同じ。雖も、總じて軽く角膜
を侵すこと尠し。鍼療を加ふよりも、速かに醫療を教ふべし。

(六) 角膜實質炎

Keratitis parenchymatosa.

原因 微毒特に先天性微毒及び結核は本病の主原因にして、其他
腺病、癩麻質、斯性關節炎、糖尿病より來り、六歳乃至二十歳の女子に
多し。

症候 其初め、角膜の實質に炎症性浸潤を來し、角膜縁より周圍に
放散する充血、角膜周擁充血ありて、角膜の表面は光澤を失ひ、粗糙
にして、恰かも呼氣をかけたる硝子の如き外觀を呈し、角膜の邊緣
若くは中心部より、溷濁を始め、漸次全面に波及し、時に羞明、流淚、發
赤を招き、稀に疼痛を訴ふ。頑固の疾患にして、大抵五六箇月より一
二年を要し、兩眼一齊に來ることは稀有にして、先づ一眼に發し、次

て他眼に及ぶ。
 豫後 多くは佳良にして全く消滅するも重症のものは多少翳を遺留し、往々再發す。
 療法 前項膿漏眼と同一部位に治療を施行し兼ねて温罨法・角膜按摩法(眼瞼上より指頭を以て輪狀若くは放線狀に行ふ輕擦法)を行ふと雖も醫療と併用するを可とすべし。

(七) 夜盲症 Hemeralopie.

原因 本症は網膜外層の疾患に併發するは勿論なるも榮養不良・神經衰弱症・産婦黃疸等の場合に於て眼底には何等障礙なきにも拘らず本症を來すこと多し。其他強烈の日光刺戟に依りても起すことあり。

症候 眼の外部及び眼底には異常なくして弱光に對し視力頓に衰へ薄暮若くは採光不充分なる時は視力障礙甚だしく盲者と異ならざるに至り燈火に近づけば漸く讀書筆記等を爲し得べし。但し時に結膜の乾燥・加答兒等を合併することあり。

豫後 佳良。

療法 原因療法を以て其主眼とす。即ち眼の疾患より來りしものは其治療を加へ又榮養不給・神經衰弱症の原因となれるものに在りては滋養物を與へ消化并に吸收機能を催進すべく内臟神經を目的に脊柱の兩傍膈俞・肝俞・膽俞・脾俞・胃俞・三焦俞・腎俞・育門・志室に於て内斜刺七分乃至一寸五分(背部五分腰部一寸五分)刺鍼し灸各七壯乃至十五壯し猶ほ血行を旺盛すべく頸部・肩部・背・上肢・下肢等にも適宜刺鍼點灸し結膜の乾燥等を伴ふものは肝油・鶏肝の類を勸

むべし。蓋し七八歳乃至十二三歳までの小兒ならば身柱三焦俞に
各三壯乃至七壯施灸のみするも奏効確實なるべし。

病理學(終)

和獨對照術語名彙

解剖名彙

解剖學	Anatomie	鼻	Nase
解剖	Sektion	鼻腔	Nasenhöhle
解剖學的	anatomisch	耳	Ohr
細胞	Zell	口	Mund
組織	Gewebe	口腔	Mundhöhle
骨	Knochen	唇	Lippe
軟骨	Knorpel	肩	schulter
筋肉	Muskel	背	Rücken
靱帶	Band	額	Stirn
關節	Gelenk	頰	wange
身體	Körper	乳房	Mamma
頭	Kopf	胸	Brust
顏面	Gesicht	腹	Bauch
頸	Hals	腰	Lumbus
眼	Auge	四肢	Extremitäten
瞳孔	pupille	上膊	Oberarm
眼窩	Augenhöhle	上肢	Obere Extre-

	レミターテン mitäten	横膈膜	ツワエルフアエル Zwerchfell
前	腕 ウンターアーム Unterarm	小腸	デューンダールム Dünndarm
手	ハンド Hand	大腸	ゴツタダールム Dickdarm
指	フィンガー Finger	結腸	ビンデダールム Binddarm
爪	ナーゲル Nagel	直腸	マストダールム Mastdarm
下	腕 ウンターバイン Unterbein	肛門	アヌス Anus
上	腿 オバーシェンケル Oberschenkel	膵	パンクレアス Pankreas
下	腿 ウンターシェンケル Unterschenkel	肝	レーバー Leber
	ケル	脾	ミルツ Milz
膝	クニエ Knie	腎	ニエ Niere
足	フッス Fuss	副腎	ネベンニエ Nebenniere
骨	ベツケン Becken	膀胱	ブラーゼ Blase
齒	ツアーン Zahn	尿道	ハルンレーレ Harnröhre
舌	ツング Zunge	陰莖	ペニス Penis
咽	ラッヘン Rachen	陰囊	ホーデンザツク Hodensack
喉	ケルコフフ Kehlkopf	睪丸	ホーデン Hoden
氣	ルフトレーレ Luftröhre	副睪丸	ネベンドヘン Nebenhoden
肺	ルンゲ Lunge	精囊	サメンブラゼン Samenblasen
食	スパイゼレーレ Speiseröhre	子宮	ウテルス Uters
胃	マゲン Magen	卵巢	アイエルストツク Eierstock

腔	ワギーナ Vagina	腦	ゲヒルン Gehirn
外陰部	ゲニターレゲゲ- nd Genitalgegend	脊髓	ルックケンマールク Rückenmark
心臓	ヘルツ Herz	神經	ネルウエン Nerven
脈管	ブルトバヘン Blutbahn	運動神經	モトリーツシエ motorische Nerven
動脈	アオルバヘン Aorten	知覺神經	ゼンシヤレ sensible Nerven
靜脈	ウエチアープル Vene, Ader.	交感神經	シムパチツシエ sympatische Nerven
内臓	エイゲウエ Eingeweide	營養神經	トロピツシエ trophische Nerven
皮膚	ハウト Haut		
結締組織	ビンデゲウエ- ベ Bindegewebe		
粘膜	シュライムハウト Schleimhaut		
生 理 名 彙			
生理學	フィジキロギエ Physiologie	血球	ブルトク...メルペ Blutkörperchen
生理的	フィジキロギフ- シユ Physiologisch	赤血球	ローアブルトク... rote Blutkörperchen
物理學	フィジツク Physik	白血球	ワイセブルトク... weise Blutkörperchen
化學	ケミエ Chemie		
血液	ブルト Blut		

酸素 Sauerstoff
 炭酸 Kohlensäure
 窒素 Stickstoff
 血液循環 Circulation
 心音 Herzton
 心動 Herzkloppen
 脈搏 Puls
 呼吸 Athmung
 呼吸音 Athemgeräusch
 空氣 Luft
 喀痰 Sputum
 咳嗽 Husten
 聲咳 Räuspfern
 噴嚏 Niesen
 鼾聲 Schnarchen
 欠伸 Gähnen
 淋巴腺 Lymphdrüse
 淋巴管 Lymphgefäss
 淋巴液 Lymphe

分泌物 Sekret
 分泌スル absondern
 唾液 Speichel
 胃液 Magensaft
 胆汁 Galle
 消化作用 Verdauungsgeschaft
 消化スル verdauen
 尿管 Harn
 糞便 Kot
 汗 Schweiß
 汗腺 Schweißdrüse
 皮膚脂 Hauttaug
 皮脂腺 Hautdrüse
 涙液 Träne
 乳汁 Milch
 牛乳 Kuhmilch
 勃起スル aufrichten
 精液 Samen

榮養物 Nährstoff
 榮養 Ernährung
 蛋白質 Eiweis
 脂肪 Fett
 鹽 Salz
 含水炭素 Kohlenhydrate
 砂糖 Zucker
 水 Wasser
 蒸餾水 destilliertes Wasser
 嗜好品 Genussmittel
 咖啡 Kaffe
 茶 Tee
 酒 Wein
 醱酵素 Ferment
 醱酵スル gären
 吸收スル resorbieren
 体温 Tempelatur
 驗温器 (寒暖計) Telmo-

metor
 運動 Bewegung
 興奮 Erregung
 疲勞 Müdigkeit
 化學的刺戟 chemischer Reiz
 溫熱的刺戟 thermischer Reiz
 電氣的刺戟 elektrischer Reiz
 生理的刺戟 physiologischer Reiz
 死体強直 Totenstarre
 反射 Reflex
 睡眠 Schlaf

鍼灸名彙

鍼術	Akupunkturion	手術	Operation
灸術	Moxibustion	作用	Wirkung
按摩術	Massage	成績	Erfolg
鍼	Nadel	刺戟(スル)	Reiz(reizen)
金鍼	Goldnadel	直接刺戟	direkte Reiz
銀鍼	Silvernadel	反射刺戟	reflexe Reiz
鐵鍼	Eisennadel	強刺戟	starke Reiz
長鍼	Langnadel	弱刺戟	schwache Reiz
短鍼	Kurz nadel	過敏	empfindlich
針柄	Nadelgriff	痴鈍ナル	abstumpfen
針體	Nadelkörper	誘導法	Ableitung
針尖	Nadelspitz	經穴	Akupunkturionspunkt
材料	Material		或ハ Punkt
酸化	Oxidation	禁忌症	Kontraindikation
磨ク	Polieren	禁忌點	Kontraindikation
法式	Methode		
手技又技術	Technik		

附六

ationspunkt

適應症	Indikation
不適症	Nicht Indikation
癍痕	Narbe
有癍痕灸治	Narbenbildende Moxibustion
無癍痕灸治	Marbenlose Moxibustion
消毒法	Desinfektion
消毒スル	Desinfizieren
清潔	Rein
不潔	Unrein schmutzig

消毒藥	Desinfektionsmittel
消毒液	Desinfektionsflüssigkeit
蒸氣消毒	Dampfsterilisation
煮沸	kochen
石炭酸水	Karbolwasser
昇汞水	Sublimatlösung
普通アルコール	Alkohol dilutum
無水アルコール	absolute Alkohol

病理名彙

疾病	Krankheit	診斷	Diagnose
原因	Aetiologie	病曆(既往症)	Anamnese

附七

現 症 ^{スタース プレゼ} Status prae-
 ^{シンス} sens
 症 候 ^{シムプトム} Symptom ^エ E-
 ^{ルシヤイシヤ} rscheinung
 自覺的症候 ^{サブエクチーフス} subiektive
 ^{シムプトム} Symptome
 他覺的症候 ^{オブエクチーフス} obiektive
 ^{シムプトム} Symptome
 鑑別診斷 ^{ワフフエレンチアル} Differenzial-
 ^{ヂヤグノーゼ} diagnose
 經 過 ^{ヴェルラウフ} Verlauf
 轉 歸 ^{アウスガング} Ausgang
 死亡(死亡スル) ^{トートスナ} Tod (st-
 ^{ערベン} erben)
 全治(全治スル) ^{ハイルン} Heilun-
 ^グ g (heilen)
 療 法 ^{テラピエ} Therapie
 原因療法 ^{カウザレ} causale ^ベ Be-
 ^ン handlung
 對症療法 ^{シムプトマチ} symptomati-

^{フシエ} sche ^ベ Behan-
^{ドレンク} dlung
 急 性 ^{アクト} akut
 慢 性 ^{クロニッシュ} chronisch
 原 發 性 ^{プライマレ} primäre
 續 發 性 ^{ゼクンダレ} sekundäre
 合 併 症 ^{コンプリカチオン} Konplikation
 前 驅 症 ^{プロドロム} Prodrom
 潛 伏 期 ^{インクバチオン} Inkubation
 恢 復 期 ^{レコンワレスフエ} Rekonvales-
 ^ン zenz
 再 發 ^{レチヂウ} Rezidiv
 素 因 ^{ディスポジチオン} Dispositi-on
 誘 因 ^{プラディスポジチ} Pradispositi-
 ^{オン} on
 先 天 性 ^{アンゲボレン} Angeboren
 後 天 性 ^{エールワORBEN} Erworbön
 遺 傳 ^{ヘレヂター} Heredität
 機質的疾患 ^{オルガニフシエ} Organische
 ^{クランクハイト} Krankheit

官能的疾患 ^{ファンクチオネ} functione
 ^レ lle Krankheit
 肥 大 ^{ヒペルトロフイ} Hypertroph-
 ^ア ia
 增 殖 ^{ウフヘルンク} Wucherung
 再 生 ^{レゲネラチオン} Regeneration
 萎 縮 ^{アトロフイ} Atrophie
 變 性 ^{ヂヂネラチオン} Degeneration
 壞 死 ^{ネクロゼ} Nekrose
 沈 着 ^{アブラゲルンク} Ablagerung
 炎 症 ^{エンチユンク} Entzündung
 腫 瘍 ^{ツモル} Tumor
 血 塞 ^{トロムボゼ} Trombose
 血 栓 ^{エムボリ} Embolie
 貧 血 ^{アナミ} Anämie
 充 血 ^{ヒペレミア} Hyperaemia

鬱 血 ^{スタウונク} Stauung
 羸 瘦 ^{アブマゲルンク} Abmagerung
 肥 滿 ^{フエフトライビカイト} Fettleibigkeit
 衰 弱 ^{マラスムス} Marasmus
 狹 窄 ^{ステノーゼ} Stenose
 閉 塞 ^{ヴェルストップク} Verstopfung
 腺 病 質 ^{スクロフローゼ} Skrophlose
 惡 液 質 ^{カヘキシ} Kachexie
 中 風 質 ^{ハビフスマアポ} Habitus apo-
 ^{レクタクス} plecticus
 稟 賦 ^{テムペラメン} Temperame-
 ^ト nt
 多 血 質 ^{サングイニケル} Sanguiniker
 神 經 質 ^{ネルボジター} Nervosität
 胆 汁 質 ^{クロリケル} Chloriker
 粘 液 質 ^{フレグマチフシユ} Phlegmatisch

症 候 名 彙

聽 診 ^{アウスクルタチオン} Auskultation
 聽 診 器 ^{ステトスコフ} Stethoskop

打 診 ^{ペルクッシオン} perkussin
 打 診 器 ^{プレキシメトルム} Pleximetrum

視診 ^{インスペクティオン} Inspektion
 觸診 ^{パルパチオン} Palpation
 惡寒 ^{フローステルン} Frosteln
 戰慄 ^{シャウダウ} Schauder
 寒戰 ^{シュツテルフロースト} Schüttelfrost
 潮紅 ^{ロエーフング} Rotung
 腫脹 ^{アンシュウェルルング} Anschwellung
 違和 ^{ベシユウエルグ} Beschwerde
 倦怠 ^{マツチヒリキ} Mattigkeit
 顔面蒼白 ^{ブラッセスゲズケイト} blasses Gesicht
 紫藍色 ^{チアノゼ} Cyanose
 惡心 ^{ユヘルカイト} Uebelkeit
 嘔吐 ^{エルブレフヘン} Erbrechen
 吞酸 ^{ピロージス} Pyrosis
 噯氣 ^{ルクトアチオン} Ructuation
 食慾 ^{アペジツ} Appetit
 食慾不振 ^{アペジツロシグケイト} Appetitlosigkeit

舌苔 ^{フンゲンベラウグ} Zungenbelag
 吃逆 ^{シンダルフス} Singultus
 煩渴 ^{ハイヌドウルスト} Heissdurst
 嗜眠 ^{ソムノレンツ} Somnolenz
 昏睡 ^{コマ} Koma
 人事不省(失神) ^{オヒンマハチ} Ohnmacht
 重聽 ^{シュウニルキ} Schwerhörigkeit
 耳鳴 ^{オレンブラウゼン} Ohrenbrausen
 頭痛 ^{コプフシュメルツ} Kopfschmerz
 眩暈 ^{シュウインゾル} Schwindel
 譫語 ^{デリリウム} Delirium
 不眠 ^{シュラフロシグケイト} Schlaflosigkeit
 鬱憂 ^{アプレフシオン} Depression
 興奮 ^{エルレグング} Erregung
 不安 ^{アンルエ} Unruhe

冷汗 ^{アングシュツ} Angustschweiss
 盜汗 ^{ナハツシュウ} Nachtschweiss
 心悸亢進 ^{パルピガチオン} Palpitation
 胃部壓重 ^{マゲンドルツ} Magendruck
 呼吸困難 ^{グスブノイエ} Dyspnoea
 嚥下困難 ^{ディスファギア} Dysphagia
 咯血 ^{ハムプトエ} Hamoptoe
 吐血 ^{ブルートブレフヘン} Blutbrechen
 出血(スル) ^{ブルツング} Blutung (bluten)
 衄血 ^{ナゼンブルツン} Nasenbluten
 腸出血 ^{ダウムブルツング} Darmblutung
 浮腫 ^{オエデム} Oedem
 水腫 ^{ヒドロプス} Hydrops
 氣腫 ^{エムファイゼマ} Emphysema
 疼痛 ^{シュメルツ} Schmerz
 痙攣 ^{クランプフ} Krampf
 麻痺 ^{ラームング} Lähmung

鼓音 ^{チムパニツ} tympanitischer Ton
 濁音 ^{ダムプフング} Dämpfung
 水泡音(囉音) ^{ラッセルン} Rasseln
 捻髮音 ^{クニスターラフ} Knisterrasseln
 摩擦音 ^{ライブングス} Reibungsgeräusch
 腹痛 ^{バウフシュメルツ} Bauchschmerz
 下痢 ^{ディアロヘア} Diarrhoea
 便秘 ^{ヴェルストップフング} Verstopfung
 雷鳴 ^{バウフクニウレン} Bauchknurren
 鼓腸 ^{メテオリズム} Meteorismus
 熱型 ^{フィバチン} Fiebertypen
 間歇熱 ^{インテリフテン} Intermittensfieber
 弛張熱 ^{レミフテン} Remittensfieber

分利 Krisis
 利尿困難 Dysuresia
 無尿 Anurie
 多尿 Polyurie
 神經痛 Neuralgie
 壓痛點 Druckschmerzpunkt
 壓感 Druckgefühl
 痿弱 Parese
 癱瘓 Paraparesis
 截癱 Paraplegie
 偏癱 Hemiplegie
 反應 Reaktion
 腱反射 Sehnenreflex
 牙關緊急 Trismus
 角弓反張 Ruckenstarre
 知覺異常 Aesthesioneurosis
 知覺脫失 Anaesthesia

知覺鈍麻 Gefühlsabstumpfung
 知覺過敏 Ueberempfindlichkeit
 半身不隨(偏癱) Halbsehdg
 強直性痙攣 Starrkrampf
 弛緩性麻痺 Abspannungslähmung
 月經 Menstruation
 月經不順 Amenie
 月經困難 Dysmenia
 月經痛 Menstruationskolik
 月經閉止 Menostase
 妊娠(スル) Schwangerschaft(schwängern)
 陳痛 Wehen

分娩 Geburt
 墮胎 Abort
 流產 Abortus
 不妊 Steril
 產褥 Wochenbett
 傳染病 Infektionskrankheit
 流行病 Epidemie
 地方病 Endemie
 傳染スル Infizieren
 隔離 Absperrung
 保菌者 Bazillenträger
 細菌 Bakteria
 化膿(スル) Vereiterung(eitern)
 化膿菌 Eiterkokken
 丹毒 Erysipelas
 敗血症 Septicaemia
 膿毒症 Pyaemie

產褥熱 Puerperalfieber
 破傷風 Tetanus
 義膜 Pseudomembran
 花柳病 venerische Krankheit
 梅毒 Lues, Syphilis
 淋疾 Gonorrhoe, Tripper
 軟性下疳 weicher Schankel
 橫痃 Bubo
 癩病 Lepra
 結核 Tuberkel
 免疫 Immunitat
 中毒 Vergiftung
 糜爛 Erosion
 潰瘍 Geschwür
 火傷 Brand

骨折 Fractura
 捻挫 Distorsion
 打撲 Quetschung
 脫臼 Verrenkung
 創傷 Wunde
 骨膜炎 Periostitis
 關節炎 Arthritis
 關節強直 Ankylosis
 筋炎 Myositis
 波動 Fluctation
 痔核 Hamorrhoid
 痔瘻 Afterfistel

褥瘡 Decubitus
 脫腸 Hernia
 脫疽 Gangran
 瘰癧 Panaricium
 包莖 Phimosi
 跛行 Hinken
 畸形 Missbildung
 盲目 Blind
 發疹(皮疹) Exanthem
 薔薇疹 Roseola
 匍行疹 Herpes

治療名彙

治療スル behandern
 注射 Injektion
 灌腸 Klystier
 氷嚢 Eisbeutel
 罨法 Umschlag
 氷罨法 Eisumschlag

冷罨法 kalter Umschlag
 溫罨法 warmer Umschlag
 濕布 feuchte Gaze
 水蛭 Blutegel

刺絡 Aderlass
 含嗽スル gurgeln

人工呼吸 künstliche
 Athmung

雜

病床日誌 Protocoll
 病室 Krankenzi-
 mmer
 病床 Krankenbett
 患者 Kranke, Pati-
 ent
 病院 Krankenha-
 us, Hospital
 入院(サセル) Aufnahme
 (aufnehmen)
 醫學 Medizin
 醫學的 medizinisch
 醫師 Arzt
 醫藥 Arzneimittel
 實地家 Praktiker

實地(實地的) Praxis
 (praktisch)
 實習 Übung
 助手 Assistent
 看護(スル) Krankenpfl-
 ege (pflegen)
 看護婦 Pflegerin
 診察 Untersuchen
 診察料 Honorar
 位置 Lage
 狀態 Zustand
 正規 Normal
 不正規又異常 Abnorm
 年齡 Alter
 局所 Lokal
 顯微鏡 Mikroskop

成績	Resultat	下	Unten
陽性	Positiv	衛生學	Hygiene
陰性	Negativ	衛生的	Hyginisch
表面	Oberflach	衛生警察	Gesundheit-
深部	Tief		polizei
前側	Vorderseite	醫事規則	Medizinalor-
後側	Hintenseite		dnung
側面	profil	試驗	Experiment
左	Links	試驗委員	Examinatio-
右	Recht		nscommisson
上	Oben		

昭昭和大大大大大大大
 和和正正正正正正正正
 五五三十一十十十九七五二二
 五五三十一十十十九七五二二
 年年年年年年年年年年
 七十七十六五五八十八十
 月月月月月月月月月月
 六二廿五二十二廿十
 一十十五十五十八四一
 日日日日日日日日日日
 第第第第第第第第發印
 十十九八七六五四三二
 版版版版版版版版版
 發印發發發發發發發發
 行刷行行行行行行行行



正價金五圓

著作兼發行者 山本新梧

印刷者 井下精一郎

印刷所 井下書籍印刷所

大阪市西區江戶堀下通三丁目六番地

發行所 認可私立關西鍼灸學院出版部

振替貯金口座大阪一八四八七番

大 賣 捌 所

- | | |
|------------------|------------|
| 大阪市東區北久太郎町四丁目 | 合資會社柳原商店 |
| 大阪市東區博勞町四丁目 | 丸善株式會社大阪支店 |
| 東京市日本橋區通三丁目 | 丸善株式會社書店 |
| 東京市本郷區本富士町二番地 | 文光堂書店淺井光之助 |
| 東京市本郷區春木町二丁目 | 半田屋醫籍書店 |
| 東京市本郷區春木町三丁目卅二番地 | 南江堂小立鉦四郎 |
| 京都市上京區寺町通御池南入 | 南江堂京都支店 |
| 京都市三條通鉄屋町 | 丸善株式會社京都支店 |
| 東京市本郷區龍岡町三十二番地 | 南山堂書店 |
| 熊本市安巳橋通町十四 | 芹川廣喜書店 |
| 福岡市博多上西町(電車通) | 丸善株式會社福岡支店 |

本書を講義録に代用し通信講習の便あり

細則は貳錢郵券封入申込むべし

本日鍼灸學教科書

前編 第十一版既刊
定價 金三圓五十錢
郵稅內地 金二十七錢
清朝臺灣 金五十五錢

本書は著者が二十餘年來の實驗と十餘年に亘れる後進養成等の經驗に基づき、漸新なる智識普及に努めんと欲し、心解を絞る多き其必要なる部分を、取捨撰擇し、何人も理解し易く、懇切周到に説明せり。特に解剖生理學に通曉せしめんとすべし。原書に基きたる精圖約百幅、挿入したるが如き或は刺灸法並に鍼管挿入法等の圖書を、挿入して、讀者の理解に便ならしめたるが如きは、近時續出せる此の種の書籍とは大に其趣を異にし、眞に斯界空前の大著述なり。從來本院教科書の筆記分與を請ふもの或は講義録として出版を望むもの頻々たり、旁々時代の要求を充さん。茲に右に出づるものなかるべし。故に當業者机上の好同伴とし、將た又後進者養成の唯一教科書として

本日鍼灸學教科書

中編 第十版既刊
定價 金三圓五十錢
郵稅內地 金二十七錢
清朝臺灣 金五十五錢

本書の内容は經穴學と病理學とに分ち、經穴學編に於ては、大なる精圖を挿入し、之を解剖學に對照し、最も新奇にして、然かも便益絶大なる取穴法、即ち外表に現はる、突起隆起を基とし、位置を模索する方法を詳細に説明し、病理學編に於ては、其總論は簡明を尙び、各論には、鍼灸術に最も適切なる病證と將た亦禁忌すべき疾病とを鑑別し、一病毎に原因、症候、療法、刺灸點灸の要穴を記述したれば、讀者をして斯道の堂奥に到達せしむるを得ん。

元大阪府技師鍼灸術試験委員 上村行彰先生校閱 大増補第三版
日本鍼灸會々 長山本新梧編纂 挿圖着色鮮麗

各府縣 鍼灸術 試驗 解答集

洋裝美麗金文字入
紙數 五百數十頁
正 價 金三圓五十錢
郵稅內地 金二十七錢
清朝臺灣 金五十五錢

一天下

本書は既往十八年間に於ける各府縣の鍼灸術試験問題五百有餘を蒐集し之を解剖生理鍼灸及び病理學の各部に分ちて一々簡明適切なる解答を附し簡易を旨とし平假名を傍し婦女にも理解し易からしめ加ふるに全身血管同内臟同神經の着色精圖を挿入し殊に第十三版には問題數十を増補し至る所に訂正増補を爲し全く面目を一新したれば受験者一度本書を讀み時々は忽ち試験壇上合格者たるの月桂冠を得るは勿論鍼灸家マツサージ家柔道整復術家其他産婆看護婦たりと雖も亦机上の好同伴たり。

●發行所

大阪西區江戸堀下通三丁目六番地

關西鍼灸學院出版部

振替貯金(大阪)壹八四八七番

●大賣捌所

●大阪南區日本橋筋一丁目和田新商店 ●大阪博勞町四丸善書店 ●東京市本郷區元富士町二文元堂 ●京本郷區春木町三ノ三二南江堂

特本院卒業生ハ全國無
典檢定ニテ免許セララル

鍼灸術教授

本院卒業生ハ最早
受験ノ必要ナキモ
學科ヲ増シ實地モ
多クシ眞ニ熟達權
威アル模範鍼灸家
ヲ養成センコトヲ
期ス規則書入用ノ
方ハ四錢切手封入
申込アルベシ

大阪市西區江戸堀下通三丁目
關西鍼灸學院

院主 山本新梧

●地方在住者ノ便ヲ計リ通信講習會ノ
設ケアリ隨時入會セララル
●入學期日ハ毎年四月一回トス毎年三月上旬ニ早クモ滿員ス

60
320

終